



地域医療連携室だより Vol. 150

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2021年11月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に  が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

11月14日は「世界糖尿病デー」です

みねおか ゆうすけ
内科 医長： 峠岡 佑典

糖尿病は世界中で増加の一途をたどっており、我が国では糖尿病人口が1000万人、糖尿病予備群の方も1000万人と増加傾向にあります。糖尿病に対する療養、教育、啓発の重要性は世界の共通認識となっており、毎年11月14日は「世界糖尿病デー」として国連決議で決定されています。

糖尿病は一度診断されるとほとんどの場合、生涯を通じて医療機関を継続通院することが必要になりますが、糖尿病療養には様々な障壁があり、近年では糖尿病に対するスティグマ・偏見も問題となっています。自覚症状がない場合や、コロナ禍の影響で通院が困難となったり、医療費の問題であったりと様々な理由で通院が困難になって糖尿病治療を中断してしまうことも少なくありません。療養を継続していくためには食事・運動療法はもちろん、薬物療法、フットケア、合併症検査、メンタルヘルスなどに対する多くの医療スタッフの協力を得て行なうチーム医療が欠かせません。

当院では2013年から院内糖尿病チーム「Team Compass」が院内外・地域の糖尿病療養に貢献すべく活動しています。毎年11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、市立大津市民病院大学公開講座として「糖尿病110番」を実施して糖尿病予防啓発にも取り組んでおります。



また糖尿病デーの期間中、院内の施設をブルーライトアップしております。テーマカラーであるブルーは、国連と空

を表すブルーを表しています。そして、団結を表す「輪」を使用したブルーサークルがシンボルマークとして採用されています。

2020年と2021年はコロナ禍で集合型の行事は全て中止となり、「糖尿病110番」も開催中止となっておりますが、院内施設のブルーライトアップは継続しております。



コロナ禍であっても糖尿病療養の必要性は変わりません。当院ではコロナ禍でも糖尿病治療の中断とならないよう、安全面に最大限注意しながらこれまでと同じ治療体制を継続できるようにしております。初発の糖尿病、コントロール不良の糖尿病、手術加療の必要な糖尿病の方など、いつでも当院にご紹介いただけますと幸いです。



新任医師・公認心理師のご紹介

10月より新規採用となった医師および公認心理師を本人のコメントとともに紹介します。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

おおはし かなめ
整形外科：大橋 要



10月より京都府立医科大学附属病院から赴任しました、整形外科の大橋要と申します。生まれ育った天津市のために少しでも多くの患者様に貢献できるよう日々研鑽を積んでいきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

なかやま あい
内科：中山 藍



このたび、京都第二赤十字病院より10月から赴任となりました、血液内科の中山藍と申します。総合診療を始め血液疾患を中心に、滋賀県の医療に少しでも貢献できたら幸いです。これから1年半と限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

うげた しょうこ
泌尿器科：請田 翔子



10月より赴任しました泌尿器科の請田翔子と申します。

泌尿器科疾患全般だけでなく、骨盤臓器脱といった女性ならではの疾患も幅広く診療させていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

なかじま こうた
脳神経外科：中嶋 広太



2021年10月より当院脳神経外科で勤務しております。

地域の皆さんの医療に貢献するとともに、自身の研鑽も積めるよう精進します。

親切で丁寧な診療を心掛けます。今後ともよろしくお願ひいたします。

なかもと かずま
救急診療科：中本 和真



済生会滋賀県病院救急プログラムの一環で、10月より赴任しました救急科の中本和真と申します。

不慣れな環境でのICU、ER対応で多々ご迷惑をおかけすることもあるかとは思ひますが、日々精進していきたいと思ひています。3ヶ月と短い期間ではありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

ふじいし しんさく
消化器内科：藤石 慎作



大阪府済生会吹田病院より10月から赴任しました消化器内科の藤石慎作と申します。半年の間という短い間にはなりますが、少しでも地域に貢献できるよう日々精進したいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします

はまなか くにお
救急診療科：濱中 訓生



10月より救急集中治療部に赴任いたしました濱中訓生です。画像診断やIVRといった救急放射線を中心とした研鑽をして参りました。滋賀県の急性期医療に少しでも貢献できるよう努力したいと思ひます。

おおた てつまさ
公認心理師：太田 哲政



今年度より赴任いたしました、公認心理師・臨床心理士の太田哲政と申します。これまで、静岡にある大学病院やクリニックに勤務し、カウンセリングや心理検査を行ってきました。少しでも皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

2021年度滋賀県緩和ケア研修会(市立大津市民病院会場)開催報告

2021年9月26日(日)に、当院で滋賀県緩和ケア研修会を開催しました。

この研修会は国のがん対策推進基本計画で、治療の初期段階からの緩和ケアが重点課題に挙げられたことを受けて、各都道府県で実施されるようになりました。滋賀県では2008年から開始され、今では県内のがん診療を中心的に担う病院で実施されています。

当院では毎回、地域の先生方や医療関係者の方にも参加いただいていたのですが、今回はCOVID-19の状況を考慮し、院内職員のみでの募集といたしました。

研修会は「e-learning」と、当日の集合研修からなっています。集合研修は「がん告知を医師役、患者役のそれぞれになって体験するロールプレイ」、「患者さんの治療・ケア計画を多職種で立てるグループワーク」、更には地域の患者会の紹介など、他では学べないプログラムになっています。

今回は、普段はがん診療に直接関わることのない内科医師や、今まで受講機会がなかったベテラン医師の参加もありました。参加者16人中9人は当院の研修医で、これからの医療を担う医師の学びの場にもなっています。

受講後のアンケートでは「すぐに使えるような知識が多かった」、「難しい症例の対応策について色々なスタッフの意見が聞けた。今後もチームで患者様のサポートにつなげたい」との意見がきかれ、充実した研修会となりました。



講義の様子



ロールプレイの様子



グループワークの様子

地域医療連携室が新しくなりました!

いつもご紹介下さりありがとうございます。

9月21日より地域医療連携室は本館2階より1階正面玄関近くに移転しました。

今までは本館2階で入退院センターと同室にありましたが、地域医療連携室のみ1階正面玄関近くに移転しました。

新しい場所が定着するまでは、ご来院くださいました患者様にご不便・ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、スタッフ一同は新しい場所で心機一転さらなる接遇向上と皆様方との顔が見える連携を強化していく所存でございます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



受付カウンター

新しい取り組み

①ご紹介患者様専用のファイルの作成

地域医療連携室で受け付け後、ご移動いただく際に一目でご紹介患者様とわかる様に作成しました。院内地図がついており受診される科をわかりやすくしています。

②受付番号札の作成

受付時の混雑の回避とプライバシー保護を目的とし、番号札でお呼びする様にしました。

③受付に呼び出しベルを設置

事務所内にいる時もすぐに対応できる様にしています。



①ご紹介患者様専用ファイル



②番号札



③呼び出しベル



地域医療連携室スタッフ

丁寧な患者様対応と少しでも早くご予約のお返事ができます様に日々邁進してまいります！
ご紹介お待ちしております。



2年目研修医 note



- ①名前：高松 開（たかまつ かい）
- ②出身大学・卒業年度：滋賀医科大学 令和2年度卒業
- ③趣味・特技・好きな時間の過ごし方など：アニメ、ライブ、バイク
- ④医師を目指した理由：高校時代にお世話になった医師が素敵だった
- ⑤どんな医師になりたいですか？：
診察終了時に名前を聞いて帰りたくなるような医師
- ⑥研修医2年目の目標：3年目以降のキャリアプランを大まかに決める
- ⑦地域の先生方へのメッセージ：
いつもお世話になり有り難うございます。地域の医療に微力ながら貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。



MSW アイコさん



作・画
まきろん

※マスクは外して描いています

クイズの答え：1 ページ目 中央下/2 ページ目 タイトル右/3 ページ目 左下/4 ページ目 MSW アイコさんタイトル内 左下/地域医療連携室より内左上

地域医療連携室より

動物病院の連携システムに感謝



画まきろん



ティアラちゃん

いつも大変お世話になっております。
 今月は我が家の愛犬ティアラ（パピヨン 14才）のお話にお付き合いください。
 お盆の真夜中のことでした。ティアラが突然痙攣発作を起こし、口から泡を吹き始めました。
 こんな事は初めてで、このまま死んでしまうのではないかと不安な一夜を過ごしました。
 翌朝一番にかかりつけの動物病院へ。そこでも発作は続きました。応急処置をしてもらい、脳の精密検査と治療を受ける為に京都の脳神経外科専門病院の受診手続きをしていただきました。
 あれから2か月。ティアラはかかりつけの病院で予防薬をもらいながら元気に過ごしております。
 動物病院にもあった紹介制度に心から感謝しています。

地域医療連携室：菊池 美保